

平成31年度

通常予算補足資料

高萩市

目 次

(新) : 新規事業 (拡) : 拡充事業

【一般会計分】

1	総合福祉センター空調設備改修事業	高齢福祉課	補足資料①
2	(新) 総合福祉センター多目的ホール移動観覧席改修事業	高齢福祉課	補足資料②
3	(新) 認定こども園整備支援事業	子育て支援課	補足資料③
4	(新) 産後ケア事業委託料	健康づくり課	補足資料④
5	(新) 新生児聴覚スクリーニング検査委託料	健康づくり課	補足資料⑤
6	健康マイレージ事業経費	健康づくり課	補足資料⑥
7	(新) 自殺対策計画策定経費	健康づくり課	補足資料⑦
8	市営住宅整備事業 位置図	建設課	補足資料⑧
9	(新) 幼児教育・保育環境整備事業経費	教育総務課	補足資料⑨
10	(新) 中学校部活動支援事業経費	学校教育課	補足資料⑩
11	(新) 屋内プール使用料	教育総務課	補足資料⑪
12	(新) スカウトフィールド活用事業委託料	生涯学習課	補足資料⑫
13	(新) 長久保赤水顕彰事業経費	生涯学習課	補足資料⑬
14	(新) 子育て応援給食費支援経費	教育総務課	補足資料⑭
15	(新) 高萩アウトドアフィールド事業経費	地方創生課	補足資料⑮
16	(新) 新規需要米等推進(担い手対策)事業費補助金	農林課	補足資料⑯
17	農業用施設整備事業	農林課	補足資料⑰

18	(新) 林道橋梁点検調査委託料	農林課	補足資料⑱
19	(新) 狩猟免許新規取得補助金	農林課	補足資料⑲
20	(新) 観光PR用品製造委託料	観光商工課	補足資料⑳
21	明るい街並み(防犯灯LED化)推進事業経費	財政課	補足資料㉑
22	(新) 災害廃棄物処理計画策定委託料	環境衛生課	補足資料㉒
23	(新) 消防査察自動車購入事業	警防課	補足資料㉓
24	防災行政無線(同報系)子局増設工事請負費	危機対策課	補足資料㉔
25	避難所等公衆無線LAN整備事業	危機対策課	補足資料㉕
26	地域公共交通確保対策経費	企画広報課	補足資料㉖
27	(新) 高萩駅西口駅前広場再整備条件検討調査委託料	企画広報課	補足資料㉗
28	市道維持補修事業 外2事業 位置図	建設課	補足資料㉘
29	橋梁長寿命化事業	建設課	補足資料㉙
30	都市計画道路3・4・1号安良川下手網線 詳細設計・用地測量委託料	都市整備課	補足資料㉚
31	都市公園等整備事業	都市整備課	補足資料㉛
32	アセットマネジメント経費	財政課	補足資料㉜
33	(新) 参議院議員通常選挙経費・市議会議員一般選挙経費	総務課	補足資料㉝
【特別会計分】			
34	(新) 水中介護予防教室事業	高齢福祉課	補足資料㉞
35	(拡) 生活支援体制整備事業	高齢福祉課	補足資料㉟
36	合葬式墓地整備事業	環境衛生課	補足資料㊱

総合福祉センター空調設備改修事業

H31予算額 125,386千円

高齢福祉課生涯現役推進グループ(内線604)

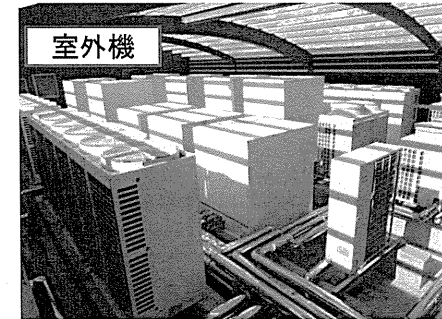
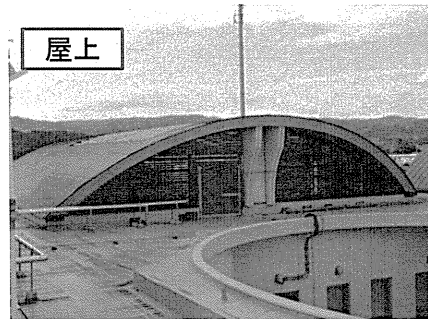
老朽化した空調設備を改修し、快適な施設環境の確保を図る。

【平成31年度事業費の内容】

総合福祉センター空調設備改修工事監理委託料 3,223千円
 総合福祉センター空調設備改修工事請負費 122,163千円

【財源】

- ① 総合福祉センター施設整備事業債 98,300千円
 - ・ 防災対策事業債 28,700千円
 充当率:75%(交付税措置率30%)
 - ・ 社会福祉施設整備事業債 69,600千円
 充当率:80%
- ② 地域福祉基金 27,086千円



【改修計画の概要】

[全体計画]

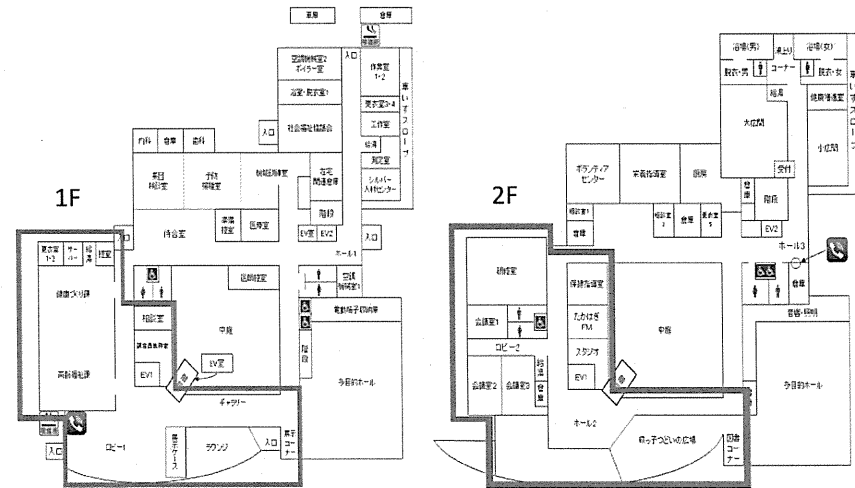
- ・ 空調方式:電気式ヒートポンプに改修(既存設備:氷蓄熱システム等)
- ・ 室外機系統:30系統
- ・ 室内機:96台
- ・ 空調冷媒管更新

[年次計画]

工事区分は故障が多い箇所を優先しつつ、室外機の撤去新設や冷媒配管工事等の施工性を考慮し、区分する。

・ 第1期工事:ロビー、事務室、研修室、会議室、つどいの広場等 (H31年度) (室外機系統:13系統、室内機:38台)

・ 第2期工事:集団検診室、浴場広間、多目的ホール等 (室外機系統:17系統、室内機:58台)



〔第1期工事(H31年度)区域〕

総合福祉センター多目的ホール移動観覧席改修事業(新規)

H31予算額 4,238千円

高齢福祉課生涯現役推進グループ(内線604)

経年劣化した制御機器・駆動部品の交換を実施し、設備の長寿命化を図るとともに、施設利用上の安全・安心の確保を図る。

【改修内容】

設置から18年が経過した、電動式移動観覧席の
制御機器及び本体駆動用部品の交換工事

制御機器交換工事

- ・操作用リモートスイッチ、シーケンサーユニット、
電源ユニット、本体駆動用インバーター、
可逆電磁開閉器・電磁接触器、
椅子起立転倒用通信機器等

本体駆動部品交換工事

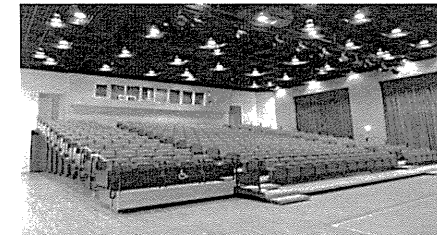
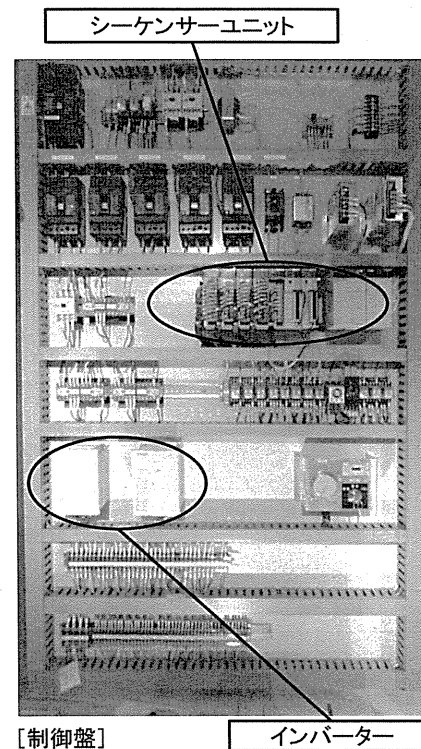
- ・ドライブリンク、アタッチメント等

【財源】

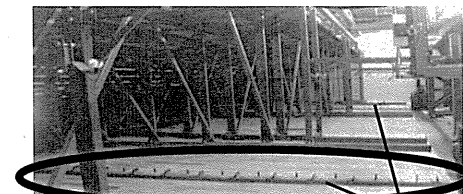
- ① 総合福祉センター施設整備事業債
 - ・社会福祉施設整備事業債 3,300千円
充当率:80%
- ② 地域福祉基金 938千円

【既存設備の状況】

納入年:平成12年
座席数:281席

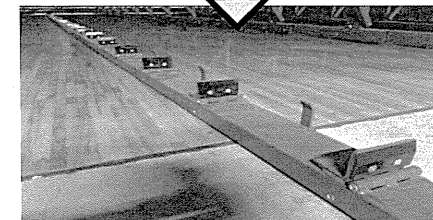


[移動観覧席]



[移動観覧席下部]

ドライブリンク



・ドライブリンクは移動観覧席本体の展開、
収納動作を行うための駆動部品。

認定こども園整備支援事業(新規)

H31予算額 367,751千円

子育て支援課子育て支援グループ(内線154)

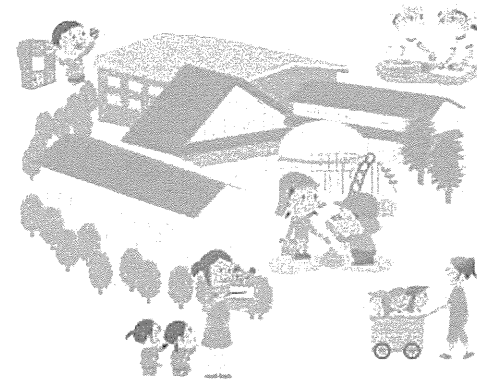
民間「認定こども園」の施設老朽化に伴い、幼児教育・保育環境整備に向けた施設整備に要する経費の一部を支援するための経費。

【目的】

施設の新設、修理、改造又は整備に要する経費の一部に充てる。
待機児童の解消を図ることを目的としている。

【対象】

就学前の子どもに対し必要な保育、教育を確保するために整備されるもの。
(対象となる事業費と交付基準額を比較していずれか少ない方の額)



【実施主体】 市町村

【設置主体】 社会福祉法人

【補助割合】 ◆保育部分(2号、3号認定) … 保育所等整備交付金：国2/3、市1/12
◆幼稚園部分(1号認定) … 認定こども園施設整備交付金：国1/2、市1/4

【事業費(内訳)】 総事業費(概算)：993,920千円(※対象となる事業費と国の交付金基準額を比較していずれか少ない方の額が交付額となる。)
◆保育部分(2号、3号認定) … 事業費：745,440千円、(国)：220,965千円、(市)：27,620千円
◆幼稚園部分(1号認定) … 事業費：248,480千円、(国)：79,444千円、(市)：39,722千円
※国：300,409千円(保220,965千円+幼79,444千円)、市：67,342千円(保27,620千円+幼39,722千円)

国負担分も合わせて市補助金として設置法人に交付。(歳入として国県補助金あり)

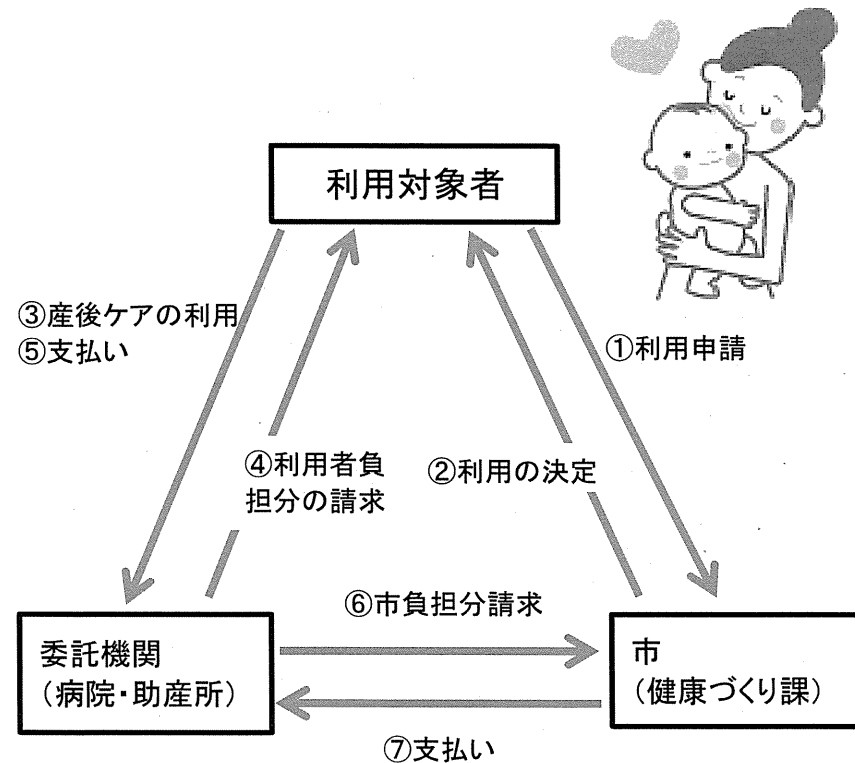
産後ケア事業委託料（新規）

H31予算額 1,060千円

健康づくり課健康増進グループ(内線624)

出産後、心身に不調や育児不安のある方に対し、医療機関や助産所で心身のケアや育児支援を行うことにより、安心して子育てができる支援体制の確保を図る。

利用の要件	高萩市内に住所を要する出産後1年未満の産婦及び乳児であり、下記のいずれかに該当するもの (1)産後に心身の不調、育児不安等があるもの (2)家族等から協力を得られないもの (3)母子ともに医療行為を要しないもの
利用日数と利用料金	日帰り(通所・訪問型)、宿泊型をあわせて7日以内 日帰り料金：1日 20,000円(利用者負担2,000円) 宿泊型料金：1泊2日 55,000円(利用者負担5,500円) ※宿泊型を継続利用した場合、2泊目以降1泊につき利用者負担は2,500円追加 ◎非課税世帯、生活保護世帯は無料
委託先	県北医療センター高萩協同病院、マタニティケア伊藤
サービス内容	母体の体力回復、産婦及び乳児のケア、育児に資する指導等(宿泊型は4食の食事付、通所型・訪問型は昼食付)
国庫補助額	母子保健衛生費補助金 補助率1/2



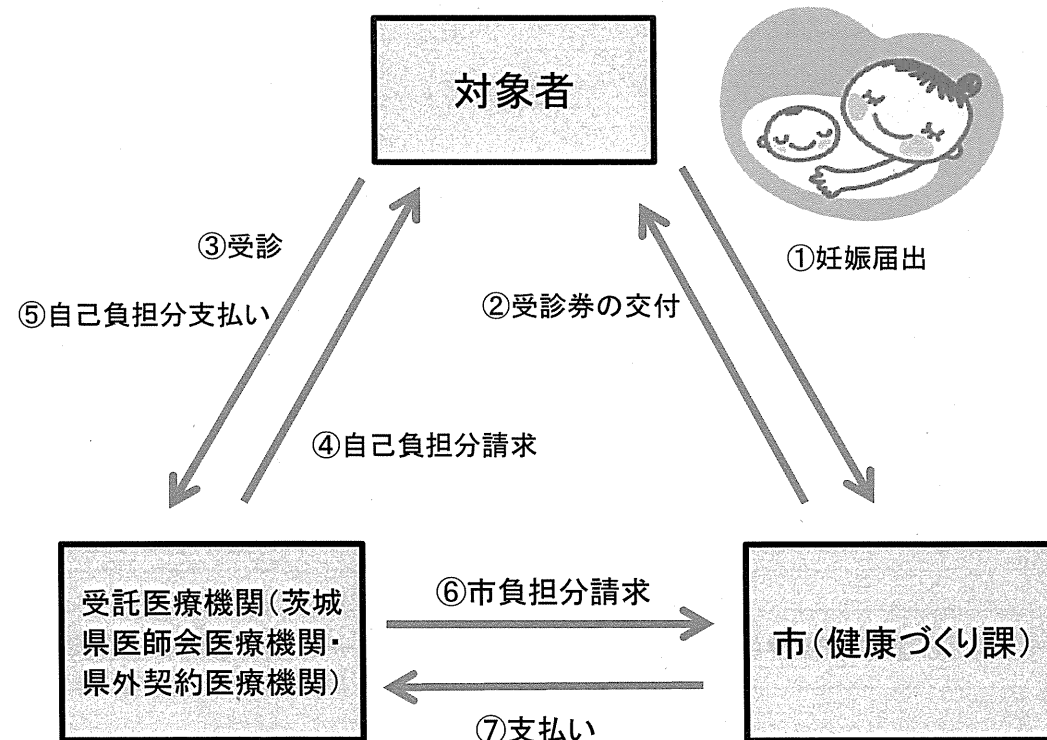
新生児聴覚スクリーニング検査委託料（新規）

H31予算額 800千円

健康づくり課健康増進グループ(内線624)

先天性聴覚障害を早期発見し早期治療を行うため、新生児聴覚検査に係る費用の一部を助成し、保護者の経済的負担軽減を図る。

対象者	新生児聴覚スクリーニング検査実施日において高萩市に住所を有する新生児。
検査	出生後入院中に行う聴覚検査。
検査費用の助成	検査に係る費用の一部を助成する。 検査1回につき3,000円もしくは2,000円を上限とする。(医療機関の検査機器によって異なる)
助成費用の支給方法	(1)受託医療機関で受診した場合 保護者は受託医療機関に対し検査に係る経費から助成費を差引いた金額を支払う。 (2)受託医療機関以外で受診した場合 市は保護者に対し、検査に係る費用の一部を償還払いで返還する。
契約先	出産医療機関、他院出生児のスクリーニング検査を受け入れできる医療機関



※審査・支払いの手続きは、茨城県国保連合会で行う。

健康マイレージ事業経費

H31予算額 1,189千円

健康づくり課健康増進グループ(内線620)

市民の健康の保持及び増進を目的に、健診や健康づくりに資する事業への参加を促進し、市民が自主的かつ積極的に健康増進を図るためのインセンティブを活用した事業を展開する。

以下の試行期間を経て、平成31年4月1日より本格実施とします。

第1回 平成29年11月1日～平成30年3月31日

第2回 平成30年 4月1日～平成31年3月31日

試行実施 (H29、H30)

＜H30年度の参加方法・内容＞

◇目的：地域イベントの参加を促進し、それにより市民が心も身体も健康になる。

◇ポイントがもらえる事業

- ・健診受診：2ポイント
(職場の健診、人間ドック)
- ・その他の認定事業：1ポイント
(市が主催・共催する講演会・イベント等)

◇対象者

高萩市に住所を有する方

◇応募について

5ポイント貯まったら(1人2口：10ポイントまで)応募可



本格実施 (H31)

変更点

◇目的：健康づくりに資する事業への参加促進や市民の自主的かつ積極的な健康づくりを図る。

◇ポイントがもらえる事業と個人の取り組み

- ・健診受診：1ポイント
(職場の健診、人間ドック)
- ・その他の認定事業：1ポイント
(市が主催・共催する健康づくりに関する講演会、教室、イベント等)
- ・自分の目標を実行：取り組み期間に応じて1～2ポイント
(身体活動、食事改善、メンタルヘルス等)

◇対象者

19歳以上の市民(年度末)



高萩市
健康マイレージカード

高萩が
好きだ。

当選者の抽選・発表・賞品の授与

【抽選・当選発表・賞品の授与：2020年5月】



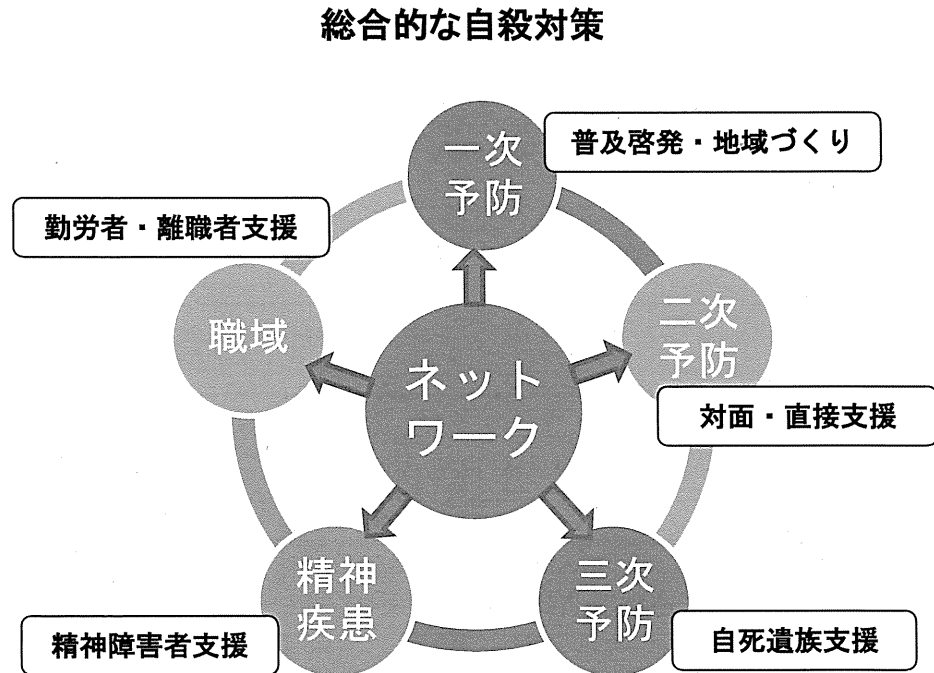
自殺対策計画策定経費(新規)

H31予算額 1,665千円

健康づくり課保健予防グループ(内線623)

自殺対策をさらに推進するため、自殺対策基本法の一部改正に基づき、「市町村自殺対策計画」を定める。計画策定により、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携を図り、自殺対策を総合的に推進する。

策定の趣旨	誰もが自殺対策に関する必要な支援が受けられることを目的とし、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現する。
計画期間	2020年度から2027年度まで
計画内容	基本方針、市民実態調査、計画の数値目標、自殺対策における取り組み内容、自殺対策の推進体制など
目標	2026年までに自殺死亡率を2015年と比べて30%減少。高萩市：2015年9.9→6.9以下(人口10万対)
アンケート調査	市民実態調査(アンケート1,000件)、集計、分析
作成部数	200部



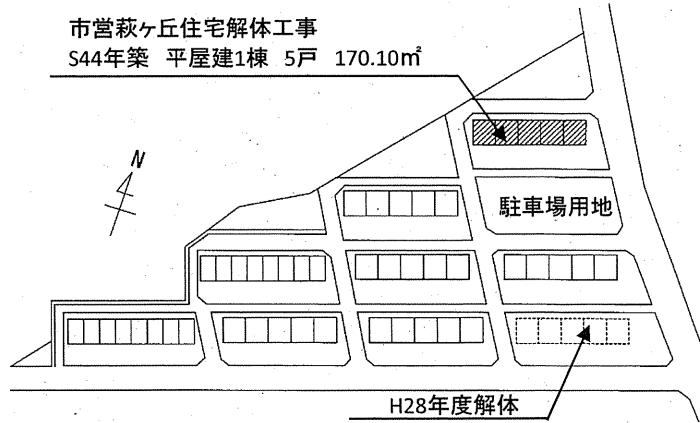
市営住宅整備事業 位置図

H31予算額 39,767千円

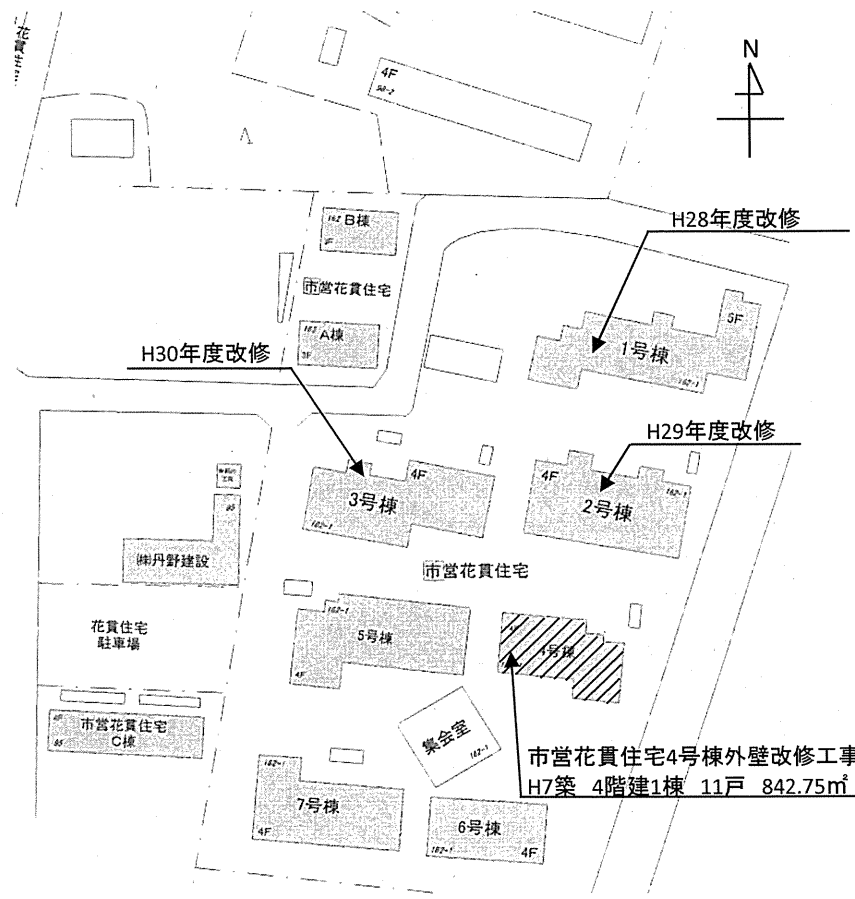
建設課市営住宅管理室(内線912)

市営萩ヶ丘住宅解体工事 8,152千円

市営萩ヶ丘住宅解体工事
S44築 平屋建1棟 5戸 170.10㎡

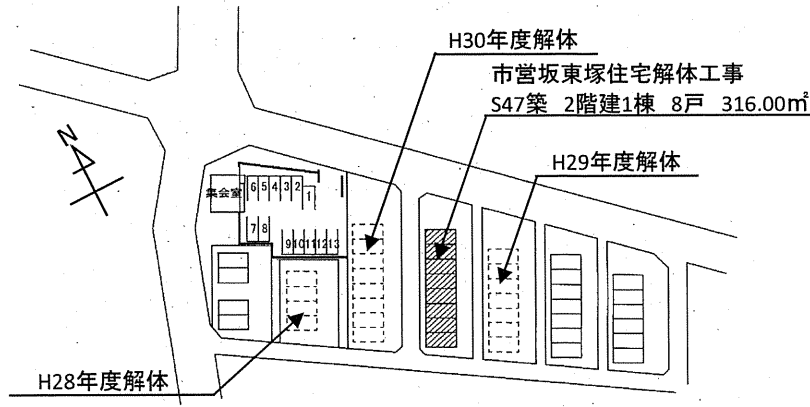


市営花貫住宅4号棟外壁改修工事 14,850千円



市営坂東塚住宅解体工事 12,183千円

市営坂東塚住宅解体工事
S47築 2階建1棟 8戸 316.00㎡



市営花貫住宅4号棟外壁改修工事
H7築 4階建1棟 11戸 842.75㎡

幼児教育・保育環境整備事業経費(新規)

H31予算額 2,000千円

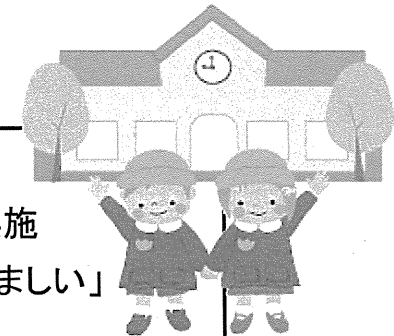
教育総務課教育総務グループ(内線261)

幼児教育・保育環境整備基本構想・基本計画、及びアンケートの結果を受け、より快適で安全・安心な子育て環境を整えるための施設整備の実施計画を策定する。

<幼児教育・保育環境整備事業>

これまでの経過

- 幼児教育・保育環境整備検討委員会が、検討結果意見書を市長へ提出
- 市立幼稚園・保育所に通う子どもの保護者、及び市内民間保育施設等へのアンケートの実施
 - ※ 公立施設については段階的に集約し、「中学校区単位に一つずつ施設を置くことが望ましい」という意見が一番多かった。
- 幼児教育・保育環境整備基本構想・基本計画(案)策定
概要：より快適で安全・安心な子育て環境を整えるための新施設整備の基本構想・基本計画(案)を策定



今後の予定…これまでの経過を踏まえて

- 教育委員会を中心に、子育て支援課等の庁内関係各課と連携しながら実施計画を策定する。
 - ・ アンケートの結果等を参考に、施設の集約方法を検討
 - ・ 建設及び改修の規模、場所の選定などを検討

中学校部活動支援事業経費(新規)

H31予算額 1,091千円

学校教育課教育指導グループ(内線271)

中学校の部活動指導に指導員を配置することにより、専門的な技術指導を求める生徒のニーズに応えるとともに、生徒の意欲喚起・技能の向上を図る。

○ 配置に至った経緯

『高萩市運動部活動の運営方針』(高萩市教育委員会 H30. 7)

市教育委員会は、必要に応じて部活動指導員を配置する。ただし、顧問が同行しない場面での指導は認めない。

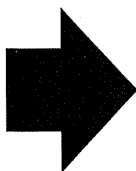
※上記方針は、「茨城県運動部活動の運営方針」(茨城県教育委員会 H30. 5)等を受けて策定

○ 配置人数

3人

○ 部活動指導員の主な職務

- ・実技指導
- ・安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ・学校外での活動(大会・練習試合)の引率



【期待される効果】

- ・生徒の意欲喚起・技能の向上
- ・指導内容の充実
- ・生徒の安全確保
- ・教師の負担軽減



屋内プール使用料(新規)

H31予算額 6,629千円

教育総務課教育総務グループ(内線261)
学校教育課教育指導グループ(内線271)

民間スポーツクラブの屋内プールを使用して小学校の水泳授業を実施し、専門インストラクターの指導による児童の泳力向上と教員の負担軽減を図る。

○ 事業概要

市内小学校の水泳授業を民間スポーツクラブの協力により実施する。専門インストラクターが児童の水泳指導をするため、児童の泳力向上と水泳に対する関心と意欲の向上が図られる。また、天候に左右されることなく授業が計画どおりに実施できることや、教員の負担軽減(学校プールの管理等)につながる。

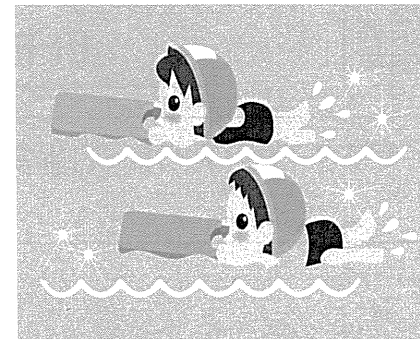
○ 授業

- ・1レッスンは1学年ごととする(70人程度)
- ・1人あたりのレッスンは年間4回とする(5月~11月)
- ・1レッスンは学校授業の2時限分とする(90分)
- ・移動は民間スポーツクラブのバスを利用

○ 使用料

1,200円(税別)/人/回

(施設使用料、インストラクター指導料、送迎バス代を含む)



スカウトフィールド活用事業委託料(新規)

H31予算額 500千円

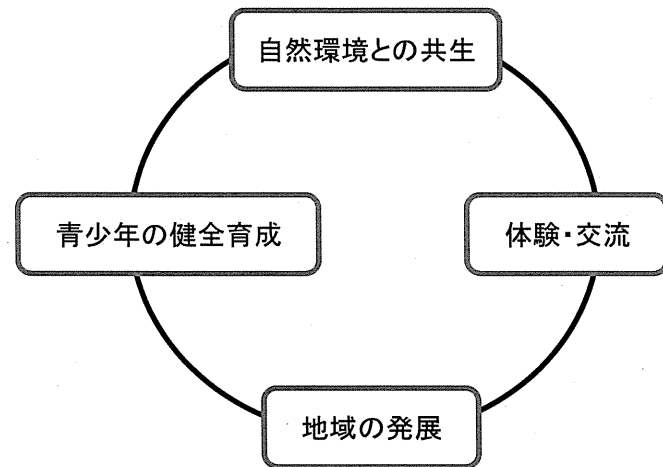
生涯学習課生涯学習グループ(内線281)

高萩スカウトフィールドにおいて自然体験活動等の事業を実施し、キャンプの理論や実践を学ぶ機会を提供するとともに、交流人口の拡大を図る。

事業概要(予定)

- ◆会場：大和の森 高萩スカウトフィールド(中戸川412)
- ◆対象者：小学校6年生以下の子どもとその保護者
- ◆募集人数：50人/1回(年2回開催予定)
- ◆参加費：原則として実費負担
- ◆主催：高萩スカウトフィールド活用事業実行委員会
- ◆共催：高萩市 高萩市教育委員会 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- ◆日程：1泊2日
- ◆内容：ロープワーク、火おこし、飲料水の確保法などの野営研修と実践、植樹(※)等
 ※植樹した木の成長を通し、現地を再訪するきっかけを設けることにより、交流人口の拡大を図る。
- ◆時期：夏～秋で調整中

スカウトフィールドの理念



イメージ



イメージ

高萩スカウトフィールドについて
 地域社会と共生する施設として、自然体験活動や集団宿泊研修を目的とした教育活動計画を持つ団体やグループに活用されている。
 本市としては、貴重な地域の資源である当該施設を活用し、青少年の健全育成の推進並びに体験や交流の機会の提供に努めていく。

長久保赤水顕彰事業経費(新規)

H31予算額 1,346千円

生涯学習課生涯学習グループ(内線281)

2019年7月15日～20日に東京で開催される国際地図学会議への参加者(各国の研究者及び同行者)を対象に、高萩市来訪ツアーを実施し、郷土の先人である長久保赤水の業績並びに本市の魅力について広く発信する。

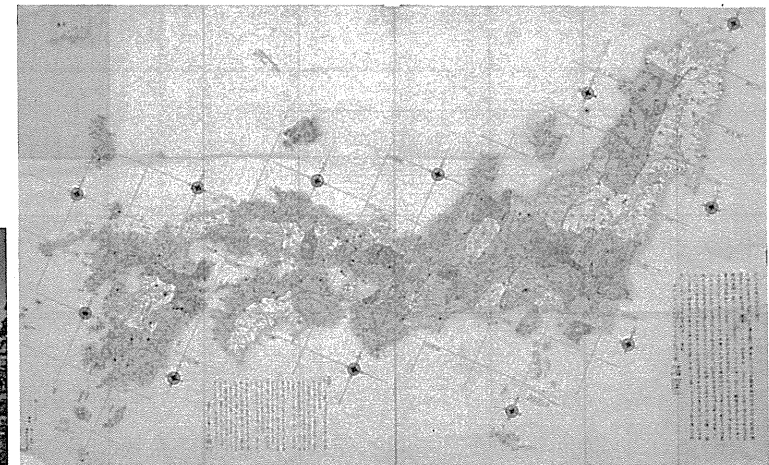
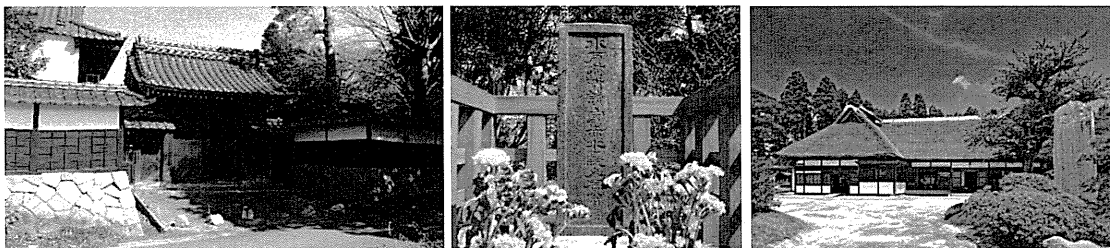
- ◆日程：2019年7月21日(日)～22日(月)
- ◆対象者：国際地図学会議参加者・同行者
- ◆募集人数：40人
- ◆スケジュール(予定)：
 - 1日目 東京 → 高萩市 → 歴史民俗資料館見学(長久保赤水資料展)
→ 昼食 → 穂積家住宅で伝統文化体験・夕食
 - 2日目 長久保赤水ゆかりの地を視察・昼食 → 東京
- ◆主催者：高萩市 高萩市教育委員会 長久保赤水顕彰会

国際地図学会議とは

2019年7月に東京で開催される第29回国際地図学会議(ICC2019)は、国際地図学協会が2年ごとに開催する国際会議であり、日本での開催は1980年の第6回東京大会以来39年ぶりの2回目となる。約1000人の研究者の参加が見込まれている。

国際地図学協会では、会議後、希望者を対象とした複数の視察ツアー(沖縄、広島、つくば市)開催を予定しており、高萩市来訪ツアーもその一つとなる。

長久保赤水資料見学による顕彰事業を実施するとともに、県文化財である穂積家住宅を会場とした浴衣試着・琴・茶道等の伝統文化体験、地域特産品を提供し、高萩市の魅力を広く発信する。



子育て応援給食費支援経費(新規)

H31予算額 7,190千円

教育総務課学校給食グループ(外線23-7412)

子育て世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、少子化対策・子育て対策を推進する。

○支援対象者

- ・同一世帯で小中学校に在籍する児童生徒を養育している保護者で、第2子以降が市内の小中学校に在籍している児童生徒がいる保護者
- ・就学援助を受けていない保護者(生活保護、準要保護者は対象外)
- ・学校給食費に未納がないこと

○支援内容

市内小・中学校に在学する第2子について半額の助成を行う。また、第3子以降においては全額の助成を行う。

○支援の方法

保護者から申請を受け、内容を審査し決定する。決定後、口座振込で助成金として支払う。

○具体的な例



高萩アウトドアフィールド事業経費(新規)

H31予算額 13,375千円

地方創生課定住・移住推進グループ(内線332)

ダムや河川等の自然資源を活用したアウトドアアクティビティの体験事業を実施し、市内外から認知される高萩アウトドアフィールドを構築する。

● 高萩アウトドアフィールド事業

ダム湖面や河川を活用し、カヌーやシャワーウォーク等の自然体験事業を実施する。

(アウトドア事業者への委託事業により実施予定)

- ・ 事業費 6,577千円

● 高萩グランピング事業

小山ダム周辺で、自然の中で宿泊するグランピング事業を実施する。

(アウトドア事業者への委託事業により実施予定)

- ・ 事業費 5,798千円

● 地域資源利活用事業

小山ダム周辺に群生する蛍を保全の上、地域資源として市内外へPRし、交流人口を確保する。

(高萩市観光協会等と連携して実施予定)

- ・ 事業費 1,000千円

※上記、3事業については、茨城県県北地域活力創造プロジェクト事業補助金(県補助(補助率1/2))を活用予定。

● 事業フィールド(小山ダム他)



小山ダム



グランピング



カヌー

新規需要米等推進(担い手対策)事業費補助金(新規)

H31予算額 6,000千円

農林課農政グループ(内線911)

主食用米の過剰作付による米価の低迷化を防止するため、新規需要米等への取り組みに対し、新たに支援を拡充することで、担い手の経営安定化を図る。

＜補助の要件＞

- ①対象者: 認定農業者(法人含む)であること。
- ②対象作物: 飼料用米、新市場開拓米(輸出用米)、WCS用稲
- ③対象圃場: 市内の圃場で集団転作に該当しない圃場。
- ④「生産数量目標に相当する数値」を達成していること。
- ⑤経営耕地面積が4ha以上であること。

※WCS用稲: WCS(ホールクroppサイレージ)は、稲発酵粗飼料のことで、
稲の実と茎葉を同時に収穫し、発酵させた牛の飼料。

【10アール当たりの収入比較】

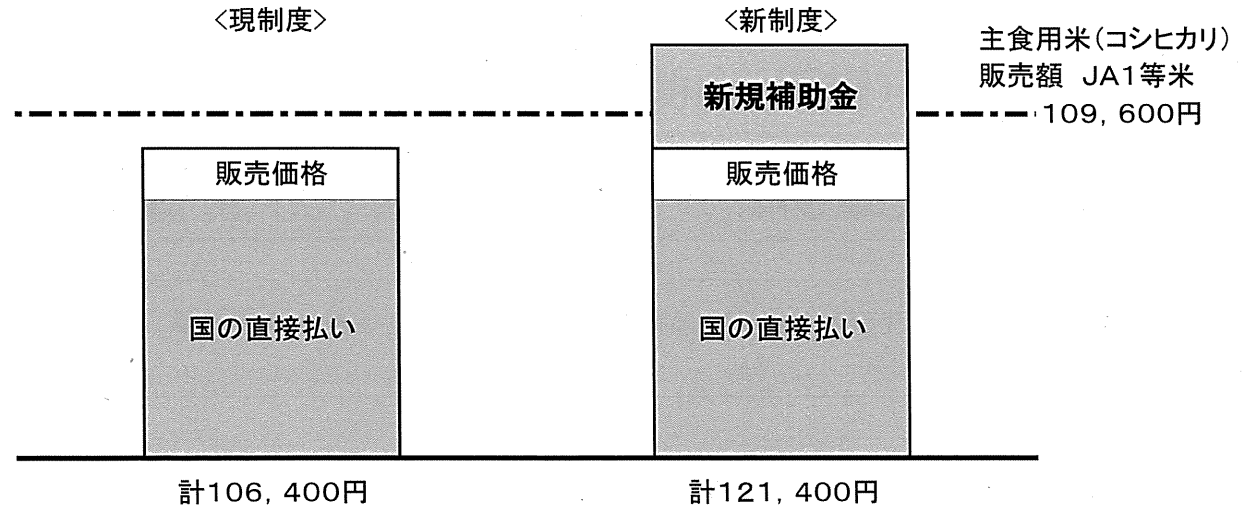
＜支援の内容＞

15,000円/10アール

○H30の買取価格 6,850円/袋

○10アール当たりの収量を8俵(16袋)

○飼料用米販売価格 150円/袋



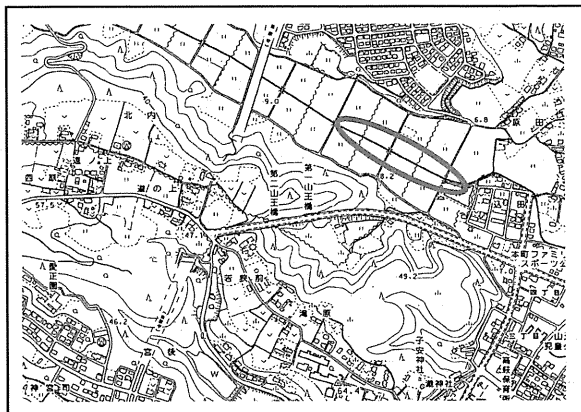
農業用施設整備事業

H31予算額 22,024千円

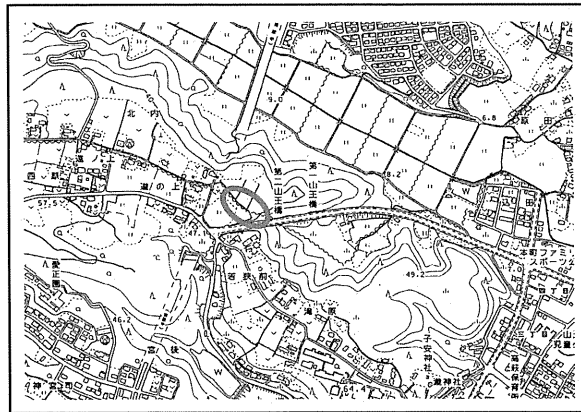
農林課農地林道整備グループ（内線215）

農業用・排水路の回復と維持管理の軽減、農業基盤の基礎として改修整備を図る。

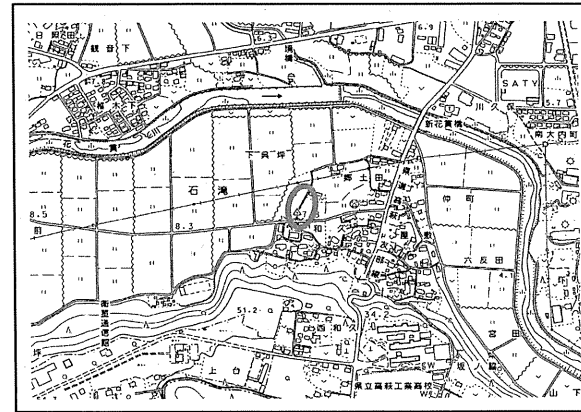
①【後谷地区】



②【仲坪地区】



③【郷土田地区】



(水路改修)



水路の吸出しに伴い法面
陥没等、維持管理に苦慮。

工事内容

底板コンクリート打設
延長 L=190m

(水路改修)

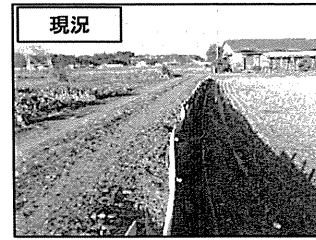


水路河床の洗掘により
土砂流出等、維持管理に苦慮。

工事内容

排水フリューム据付
延長 L=20m

(水路改修)



既設水路の劣化により
土砂流出等、維持管理に苦慮。

工事内容

深溝U字溝外据付
延長 L=80m

林道橋梁点検調査委託料(新規)

H31予算額 3,000千円

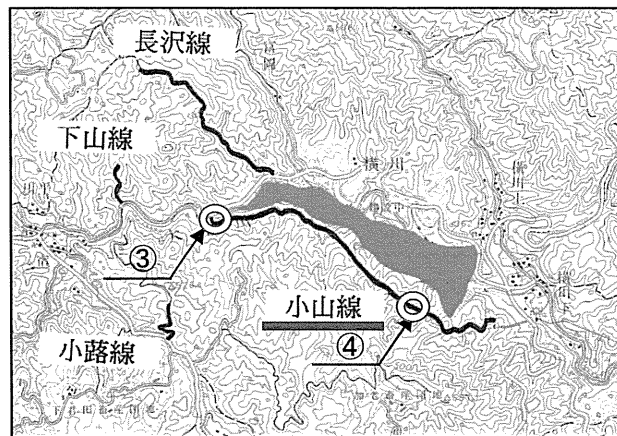
農林課農地林道整備グループ(内線215)

林道の橋梁等重要な道路施設について、健全性や耐震性に係わる点検診断を実施し、林道通行の安全確保を図る。

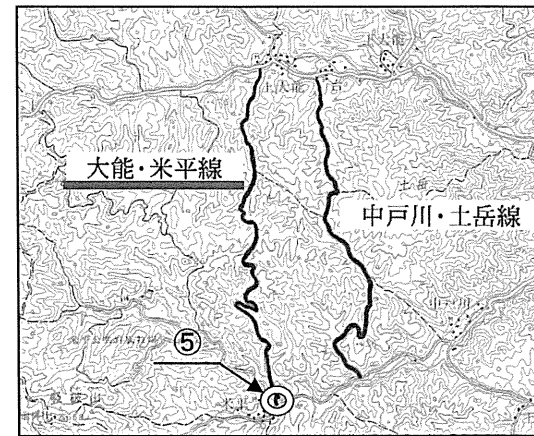
林道大荷田線



林道小山線



林道大能・米平線



狩猟免許新規取得補助金(新規)

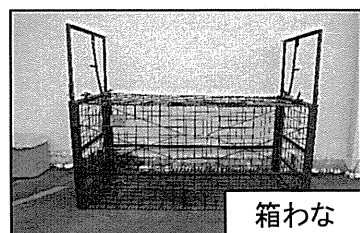
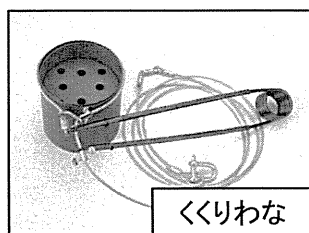
H31予算額 115千円

農林課農政グループ(内線213)

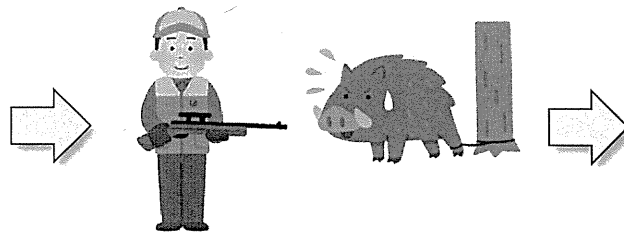
猟友会高萩支部の会員で構成されている高萩市有害鳥獣捕獲隊の会員減少や高齢化に伴い、有害鳥獣の捕獲頭数の減少が懸念されることから、新規狩猟者の確保を図るため、狩猟免許の取得に係る経費に対して補助する。

<有害捕獲の流れ>

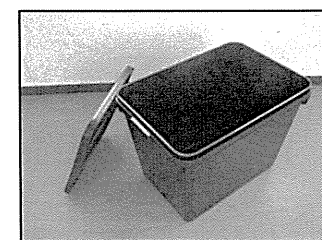
① わなを使用してイノシシを捕獲する(わな猟免許)



② 猟銃で止め刺し(第1種銃猟免許)



③ 市で焼却処分



<わな猟免許取得に係る必要経費>

【補助対象経費】

受験申請手数料	13,200円
猟友会入会費	12,300円
狩猟者登録手数料	1,800円
合計	27,300円

<第1種銃猟免許取得に係る必要経費>

【補助対象経費】

受験申請手数料等	13,200円
免許取得関係(射撃教習受講費等)	57,600円
猟友会入会費	15,000円
狩猟者登録手数料	1,800円
合計	87,600円

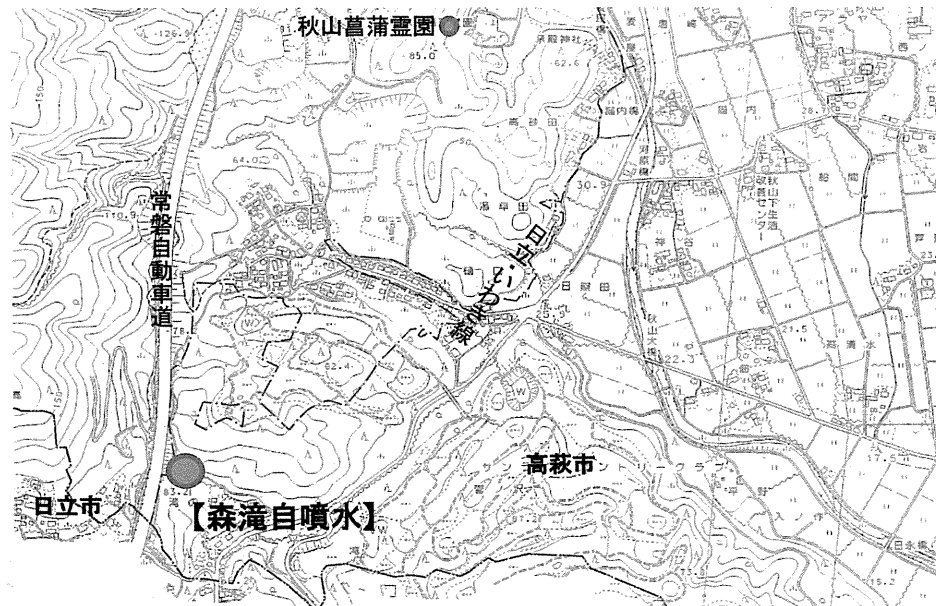
観光PR用品製造委託料(新規)

H31予算額 891千円

観光商工課観光グループ(内線242)

観光PR用として、高萩の名水である高萩市秋山の湧水「森滝自噴水」を活用しペットボトル飲料水を製造する。

- 目的 高萩の湧水を活用したペットボトル飲料水を製造し、観光誘客のツールとする
- 製造本数 500mlペットボトル(賞味期限2年) 5,000本を予定
- PR方法 市内外での観光キャンペーンにて配布



湧水のイメージ

明るい街並み(防犯灯LED化)推進事業経費

H31予算額 10,000千円

財政課管財グループ(内線355)

防犯灯をLED化することにより、CO₂の排出量及び電気料金の削減を図るとともに、原則全額補助要件に自治会等活動を付加することで、自治会等コミュニティ活動の活性化を図る。

現行の補助制度

自治会等が設置・管理している防犯灯をLED化(新設含む)する費用の3/4を補助

更に、自治会等が次のコミュニティ活動を実施した場合は、1/4を追加補助「**全額補助**」
(コミュニティ活動)

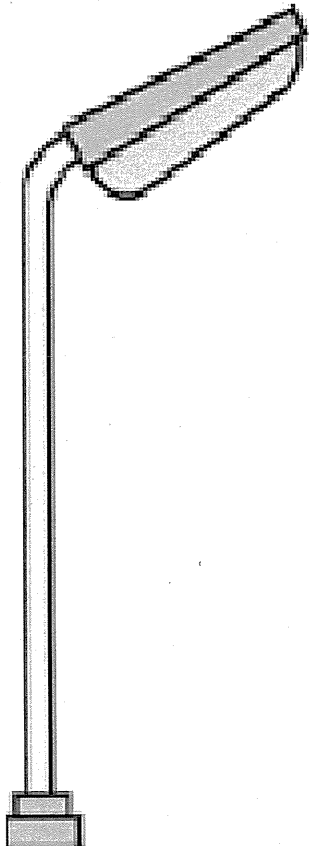
総会、定例会、新年会、花見会、忘年会などの集まり(年1回以上)
+ 次の①～③のいずれか一つ以上を実施

- ①社会貢献活動(地域の草刈り、ゴミ拾い、海岸清掃、花壇設置など)
- ②防災・減災活動(防災訓練への参加など)
- ③その他の活動(地域の高齢者活動支援など)



平成31年度から更なる充実を図ります!

- ◇概算払制度の創設(基本補助:上限100千円)
- ◇落雷等により故障した既存LED防犯灯の交換も補助対象に追加
(補助率:基本補助3/4)



災害廃棄物処理計画策定委託料(新規)

H31予算額 5,060千円

環境衛生課一般廃棄物グループ(内線204)

災害廃棄物を迅速に処理することなどを目的に、災害時を想定し、発生した災害廃棄物に関する基本的な考え方や処理方策等を示す、「高萩市災害廃棄物処理計画」を策定する。

- 災害廃棄物の処理主体である市町村においては、地域の実情に応じ、各市町村に計画の策定が求められる。
- 国の「災害廃棄物対策指針」(H26.3策定、H30.3改定)や「茨城県災害廃棄物処理計画」(H29.2策定)を踏まえ、「高萩市地域防災計画」と整合を図り策定する。

(主な事項)

- ・災害発生時の組織体制や役割分担
- ・災害廃棄物の発生量の推計
- ・災害廃棄物の処理フロー
- ・仮置場の確保(候補地の選定、運営時の対応事項等)
- ・関係機関・関係団体との連携

<参考>

東日本大震災における災害廃棄物処理の経過

年度	23	24	25	26	27	計
処理量(t)	23,679	33,019	13,845	2,008	649	73,200

※全量民間委託のため5年の長期間で対応



計画策定により適正かつ迅速な処理！！

(交付金)

循環型社会形成推進交付金 交付率1/3

消防査察自動車購入事業(新規)

H31予算額 5,538千円

警防課警防グループ(内線230)

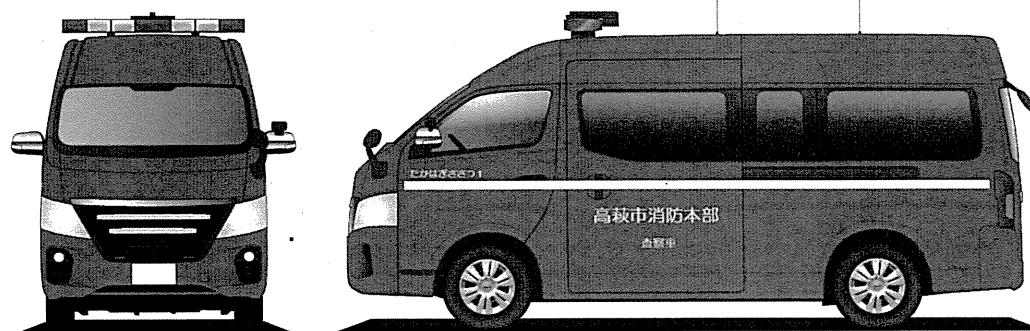
消防査察自動車(購入後21年経過)を更新するための経費。

背景・理由 : 購入後21年が経過し、走行に支障をきたす恐れがあるため更新する。
・現有車両 初度登録:平成9年7月(21年経過) 走行距離:109,780.2Km(平成31年1月1日現在)

用途 : 消防査察・各種検査・火災原因調査・資器材運搬等

特徴 : 後部座席の折りたたみ機能により、人員の輸送や資器材の搬送が行える。

主な装備 : 赤色警光灯・サイレンアンプ・消防デジタル無線機(載替)・車両動態管理システム(載替)など



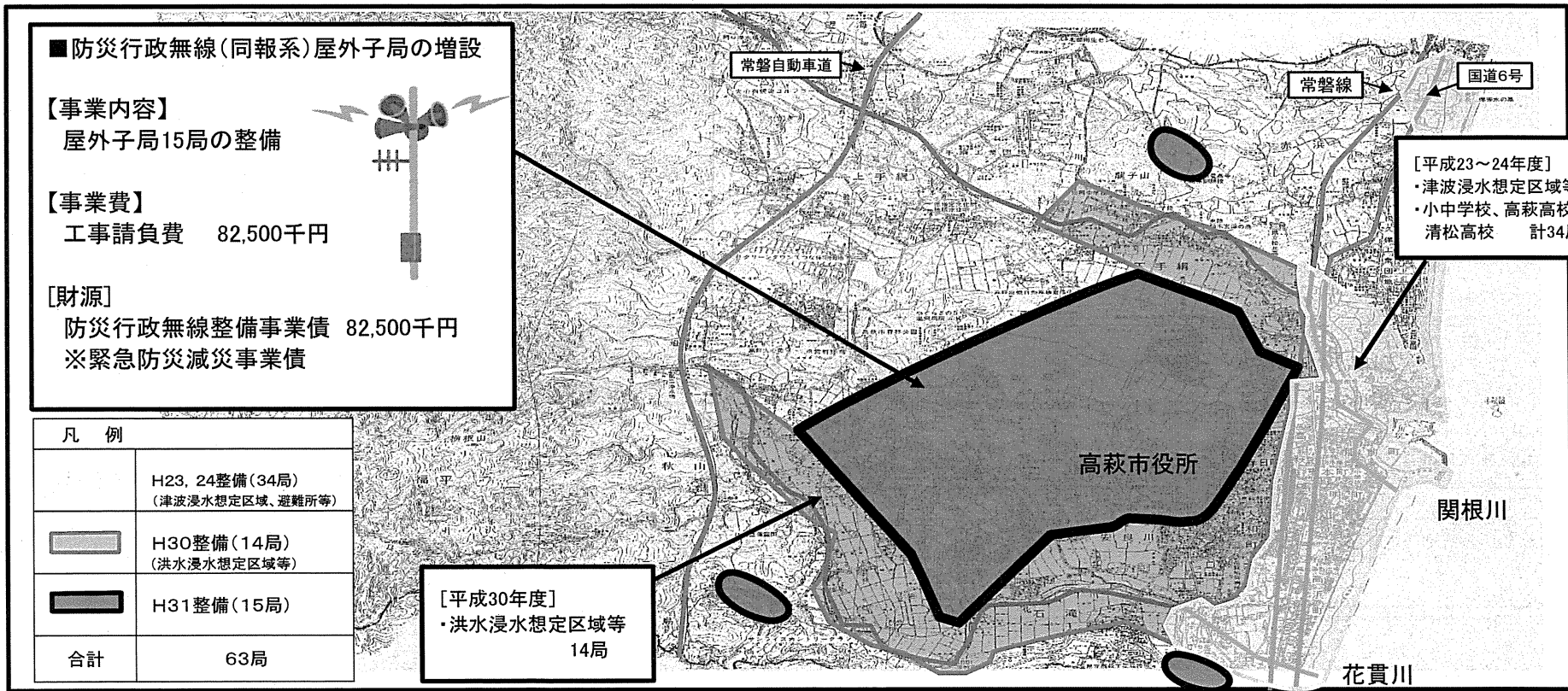
車両イメージ図

防災行政無線(同報系)子局増設工事請負費

H31 予算額 82,500千円

危機対策課危機対策グループ(内線363)

市内の居住地域及び通学路へ、国民保護情報、緊急地震速報等の情報を伝達する手段を充実させるため、防災行政無線屋外子局を15箇所追加整備する。



避難所等公衆無線LAN整備事業

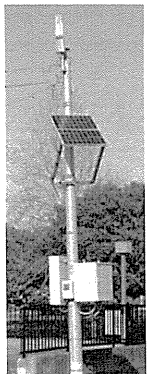
H31予算額 25,438千円

危機対策課危機対策グループ(内線363)

災害発生時の情報伝達手段確保のため、防災拠点である市庁舎及び総合福祉センター、高等学校等、指定避難所の公衆無線LAN(Wi-Fi)環境整備を行う。

■ 整備概要

整備箇所		整備装置	整備装置イメージ
防災拠点	市庁舎	1～4階 (各1箇所)	アクセス装置
	総合福祉センター	1,2階 (各1箇所)	アクセス装置
指定避難所	高萩高校	体育館前 (1基)	Wi-Fiステーション
	高萩清松高校	体育館前 (1基)	Wi-Fiステーション
	明秀学園	体育館前 (1基)	Wi-Fiステーション
	高萩ユーフィールド (旧君田小中学校)	体育館前 (1基)	Wi-Fiステーション



■ 事業費及び財源

工事請負費 25,438 千円

[財源]
 避難所等公衆無線LAN整備事業債
 ※緊急防災・減災事業債
 (充当率100%、交付税措置率70%)

■ その他

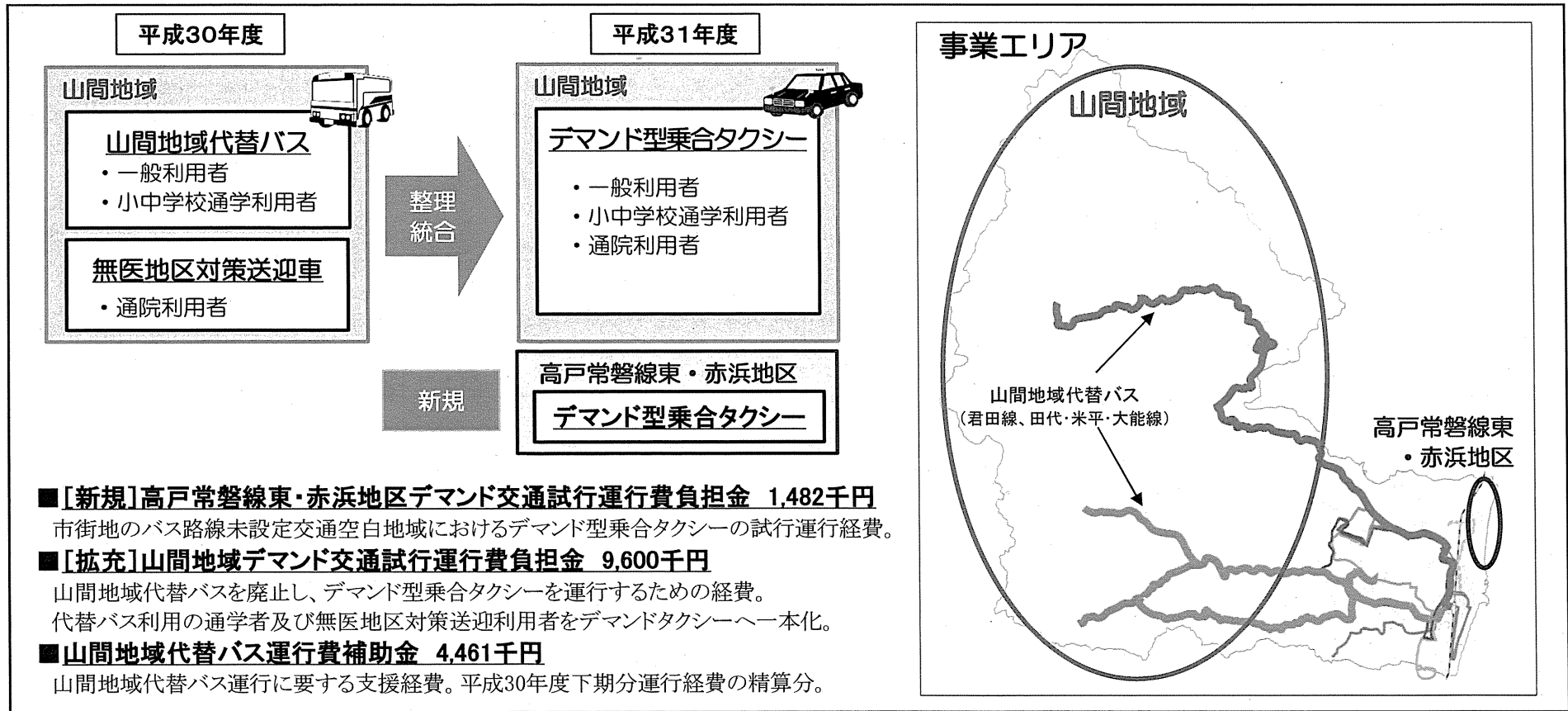
指定避難所の内、小中学校については、「小中学校ICT教育環境整備事業(平成30年度)」において整備した、無線LANを災害時に活用する。

地域公共交通確保対策経費

H31予算額 34,540千円

企画広報課企画グループ(内線322)

地域公共交通網形成計画に基づき、山間地域における公共交通手段をデマンド型乗合タクシーへ整理統合する。また、市街地の交通空白地域における公共交通確保対策として、デマンド型乗合タクシーの試験運行を実施する。

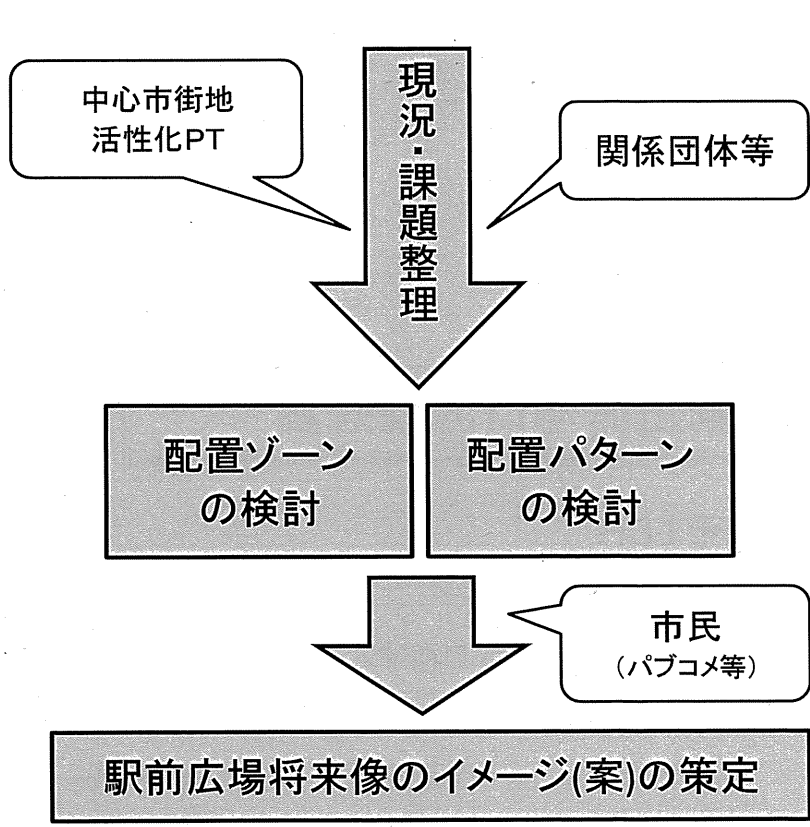


高萩駅西口駅前広場再整備条件検討調査委託料(新規)

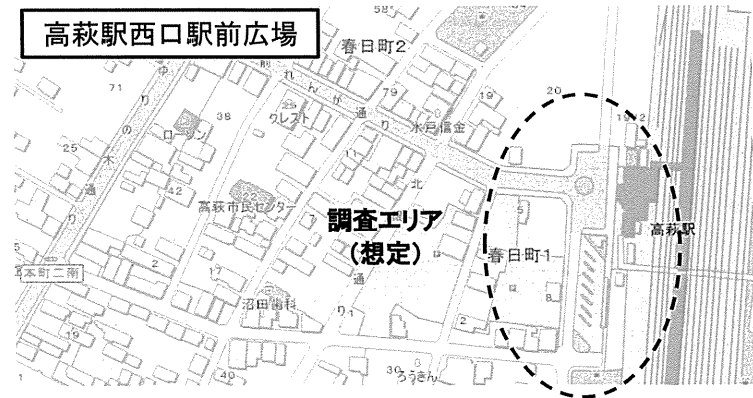
H31予算額 1,991千円

企画広報課企画グループ(内線322)

中心市街地の核となる高萩駅西口広場の再整備を進めるための現状把握と課題整理等を行う経費。

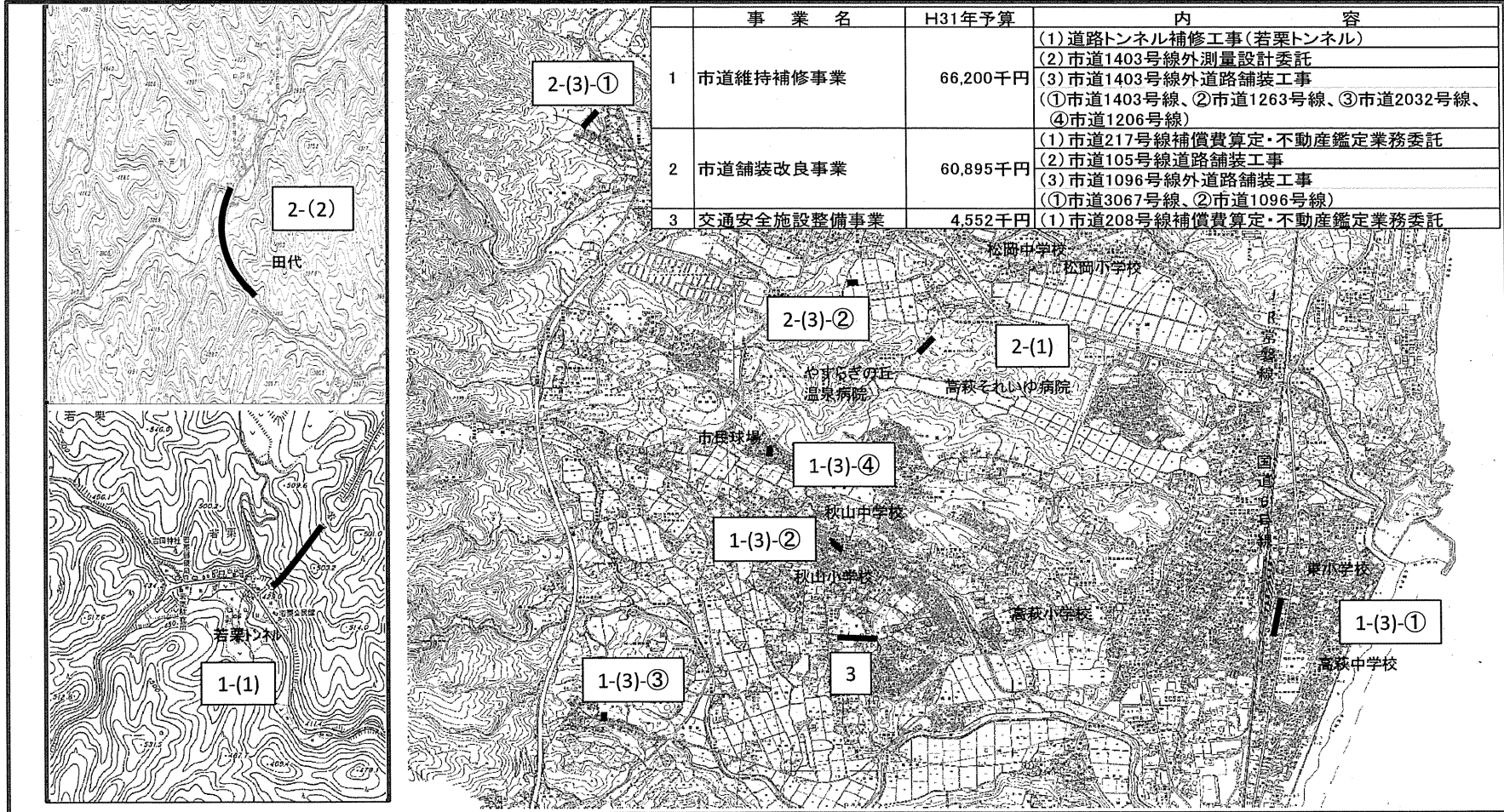


- <中心市街地活性化の取組み>
- ①第5次高萩市総合計画
JR高萩駅周辺の「まちのにぎわいゾーン」が本市の中で最も賑わいのあるゾーンとなることをめざす。
 - ②高萩市地域公共交通網形成計画
JR高萩駅は公共交通における広域幹線と地域内路線を結ぶ交通結節点であり乗継環境機能強化を図る。
 - ③中心市街地活性化検討PT
ソフト事業を支援しつつ、駅前広場や都市計画道路等のハード面に取り組む。



市道維持補修事業外2事業 位置図

建設課施設整備グループ(内線222)

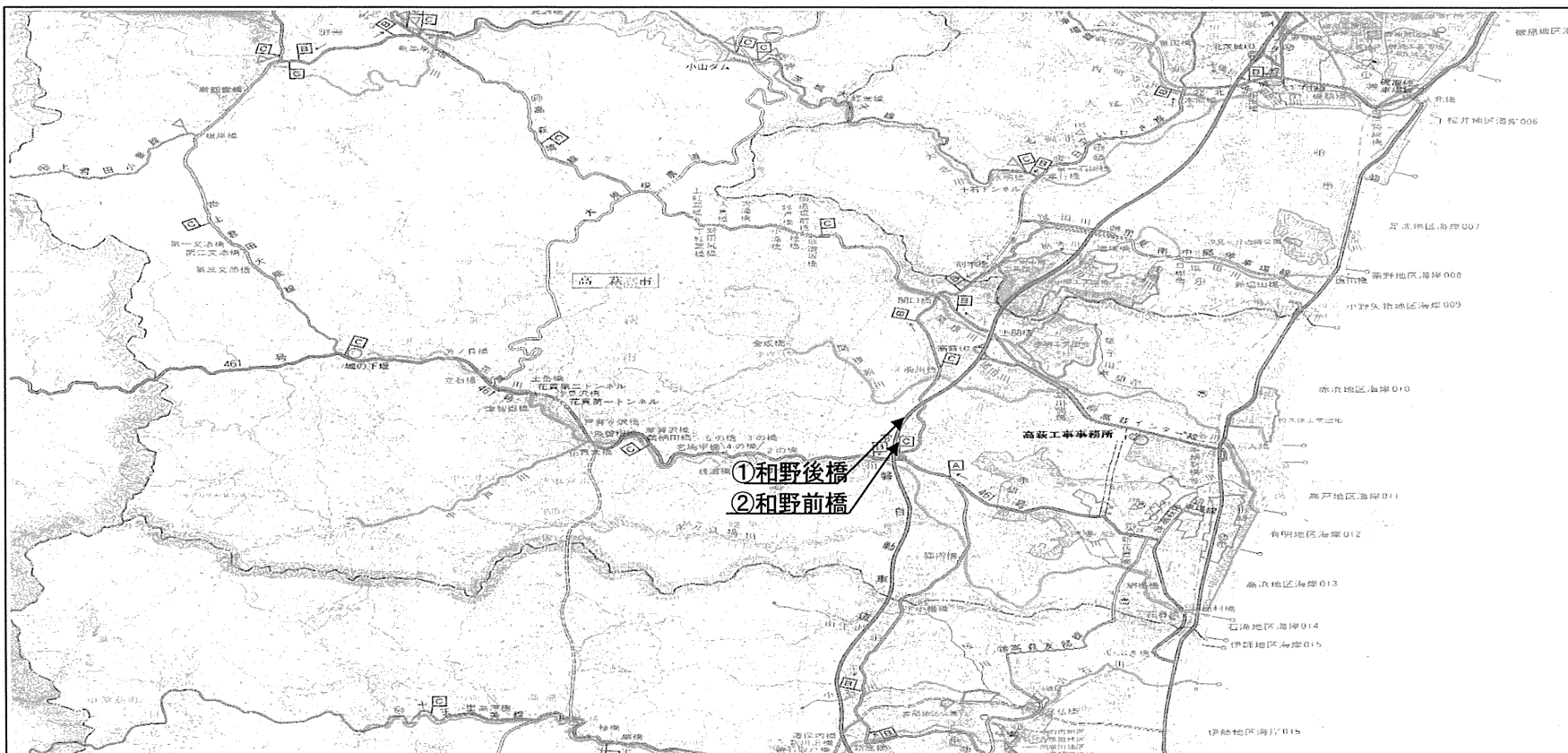


橋 梁 長 寿 命 化 事 業

H31 予算額 47,000千円

建設課施設整備グループ(内線222)

平成26年度に策定した、高萩市橋梁長寿命化修繕計画に基づき道路ネットワークの安全性、信頼性を向上させ、橋梁の長寿命化及び修繕・架替に係る費用の縮減と平準化を図る。今年度においては、15m以上の橋梁2橋の改修工事を実施する。



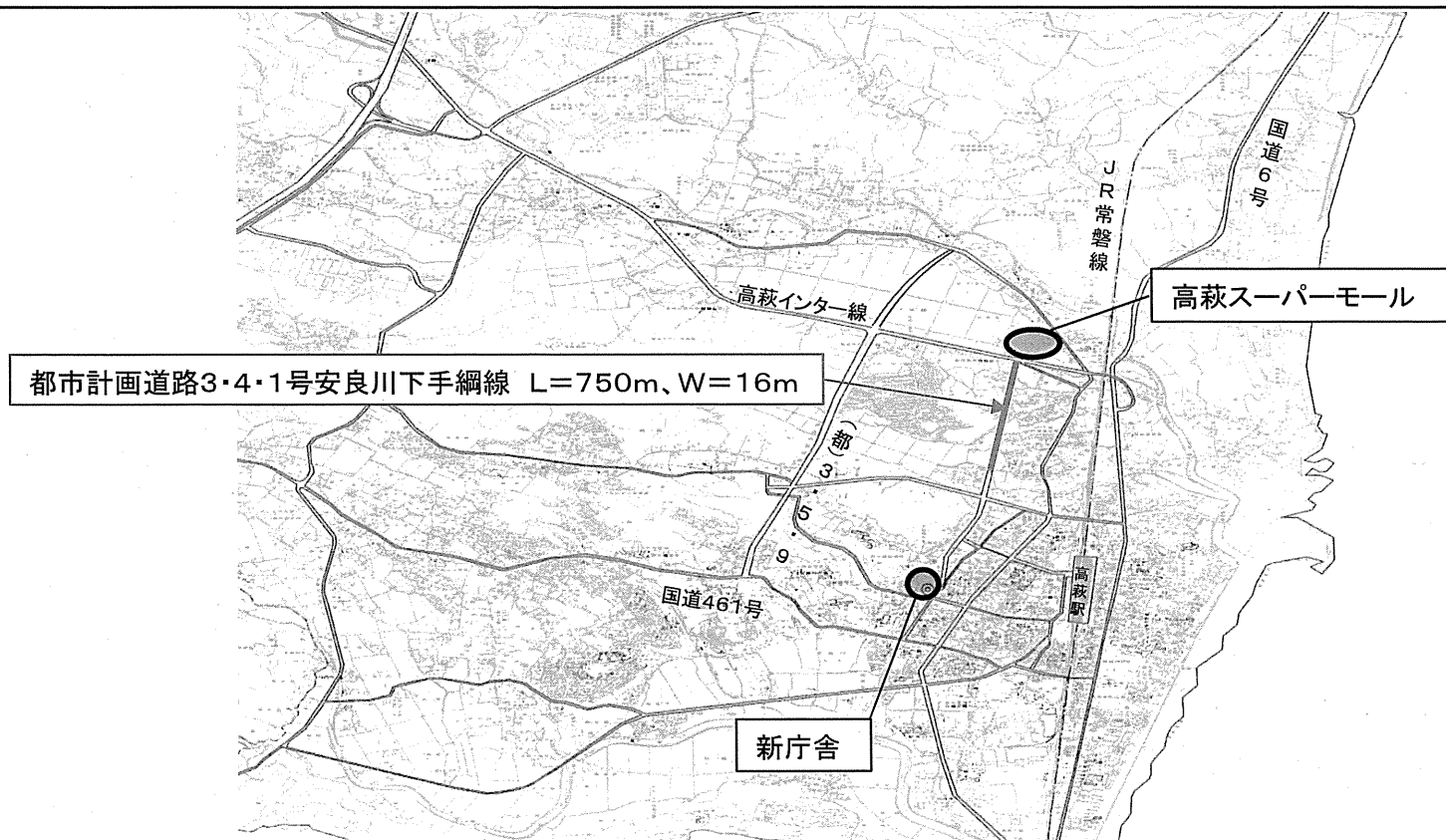
①～② 補修工事

都市計画道路3・4・1号安良川下手網線詳細設計・用地測量委託料

H31予算額 30,173千円

都市整備課都市計画グループ(内線232)

都市計画道路3・4・1号安良川下手網線の事業進捗を図るため、詳細設計・用地測量業務を実施する。

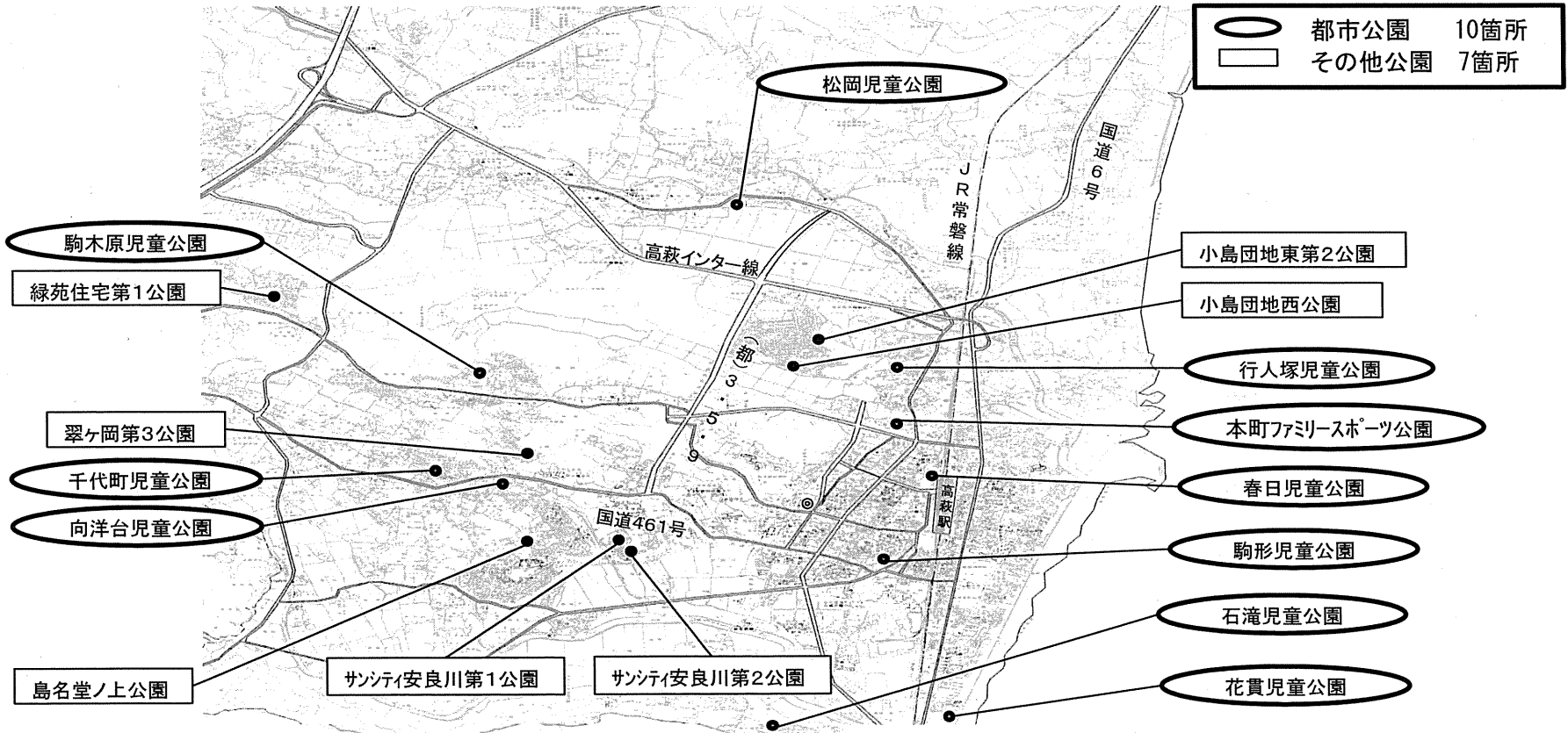


都市公園等整備事業

H31予算額 59,477千円

都市整備課都市計画グループ(内線232)

老朽化の著しい公園内遊具のうち、都市公園施設長寿命化計画に基づき都市公園10箇所、その他公園7箇所の遊具を更新する。



アセットマネジメント経費

H31予算額 13,996千円

財政課管財グループ(内線355)

高萩市公共施設等管理計画基本方針を改訂するとともに、個別施設ごとの具体的な対応方針を定めるため、個別施設計画を策定する。

改訂等の背景

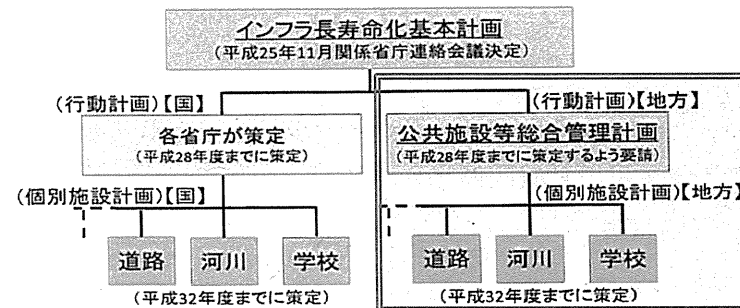
「高萩市公共施設マネジメント白書」及び「高萩市公共施設等管理計画基本方針」の策定から約5年が経過し、本庁舎の再建や君田小中学校の閉校等、策定当時からの状況変化が見られる。

また、各地方公共団体において、策定した総合管理計画の推進を総合的かつ計画的に図るとともに、総合管理計画について不断の見直しを実施し、充実させていくことを目的として、「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が昨年2月に改訂され、総合管理計画の改訂及び2020年度までに個別施設計画の策定が国から要請された。

主な改訂業務等の内容

- ・施設の老朽化状況の把握
- ・公共施設等管理計画基本方針策定後の市の取組状況の整理
- ・中長期の維持・更新コストのシミュレーション及び財政制約の設定
- ・実績・課題のまとめ及び施設整備方針の策定
- ・施設の整備基準の設定
- ・総合管理計画改訂版及び年次計画(長期・中期)の策定 等

【インフラ長寿命化計画の体系】



※H30.4.23 総務省資料「公共施設等総合管理計画の更なる推進に向けて」より

参議院議員通常選挙経費・市議会議員一般選挙経費(新規)

20, 226千円(参議院議員通常選挙経費)

H31予算額 28, 347千円(市議会議員一般選挙経費)

総務課総務グループ(内線343)

任期満了に伴う参議院議員通常選挙及び市議会議員一般選挙執行に要する経費(投票所・開票所経費、ポスター掲示場経費等)平成31年度執行の選挙から新たに移動期日前投票所(車)を設ける。また、市議会議員選挙において、ビラの頒布が解禁。

参議院議員通常選挙 任期: 7月28日 公示日: 選挙執行日の17日前
市議会議員一般選挙 任期: 11月22日 告示日: 選挙執行日の7日前

移動期日前投票所(車)の導入

旧高岡地区に住所を有する選挙人の投票機会の確保及び利便性の向上を図ることを目的に移動期日前投票所(車)を開設する。

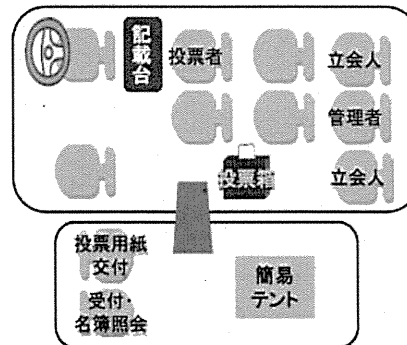
◆移動期日前投票所(車)とは

- ・自動車(ワゴン車)に投票箱を載せて集会所等を巡回する投票所。
- ・投票管理者及び投票立会人は、車内全体を見渡せる最後部の座席に座る。

◆投票環境対策

- ・車いすや体の不自由な方への対応については、事務従事者による介助を実施。
- ・雨天時や暑さ寒さ対策のため、乗降口に簡易テントを設置。
- ・記載場所に保護パネルを使用し、投票時には窓ガラスに目隠しを施し投票の秘密保持を確保。

- ◆巡回箇所(H30.12.1定時登録時選挙人名簿登録者数)
若栗(84)、横川(68)、下君田(88)、上君田(179)、大能(72)、中戸川(106)



市議会議員選挙におけるビラ頒布解禁

市議会議員選挙において、有権者が候補者の政策等を知る機会をより拡充するため、公職選挙法の改正により、選挙運動のために使用するビラの頒布が解禁される。

◆ビラ作成費用の公費負担【法142十一、市条例】

ビラの作成費用の一部を公費で負担。
限度額: 7円51銭×4,000枚=30,040円

◆ビラの規格等【法142、142七、142八】

29.7cm×21cm(A4判)以内。
選挙管理委員会に届け出たもの2種類以内 計4,000枚
市選管が交付する証紙を貼ること。

◆ビラの記載内容等【法142九】

個人演説会の告知や政見の宣伝のほか、直接投票依頼の文言等、制限はなし。ただし、虚偽事項、利害誘導等の罰則に触れるようなことは記載できない。また、ビラの表面に頒布責任者及び印刷者の氏名及び住所(法人の場合は法人名とその所在地)を記載すること。

◆頒布方法【法142六、令109の6】

新聞折込み、選挙事務所内、個人演説会又は街頭演説の場所のみ頒布可。 ※郵送、ポスティングは禁止

水中介護予防教室事業(新規)

H31予算額 283千円

高齢福祉課地域包括支援グループ(内線611)

地域支援事業一般介護予防事業普及啓発事業の一つとして、介護予防の推進と生活習慣病の改善を目的に水中における介護予防教室を実施。水中での運動は、陸上に比べ膝や腰への負担が少ないため、膝や腰の違和感や痛みがあり運動を控えている高齢者が運動に取り組む機会となる。

事業概要

【財源内訳】国:25%、県:12.5%、市:12.5%、1号保険料:23.0%、支払基金:27.0%

対象者:65歳以上の市民

- ・要介護・要支援認定を受けていない方
- ・医師から運動を禁止されていない方

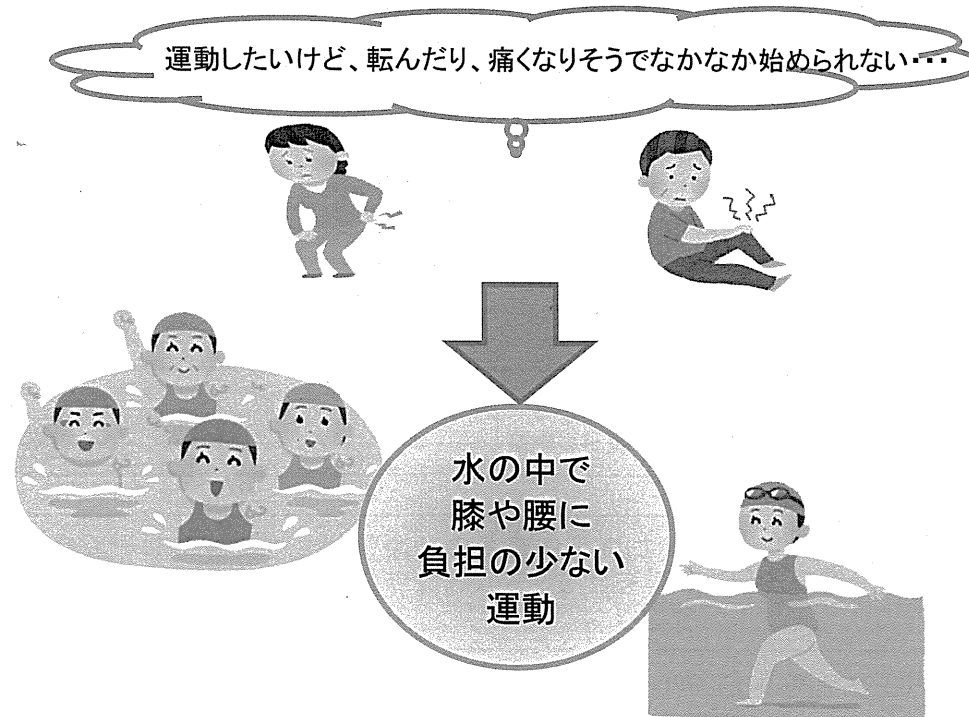
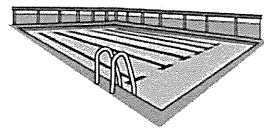
定員:20名

回数:8回(週1回、2ヶ月間)

内容:インストラクター等の指導による、水中でのウォーキング、体操等

場所:民間スポーツクラブ屋内プール

評価:初回、最終回に
体組成計による
測定を実施



生活支援体制整備事業(拡充)

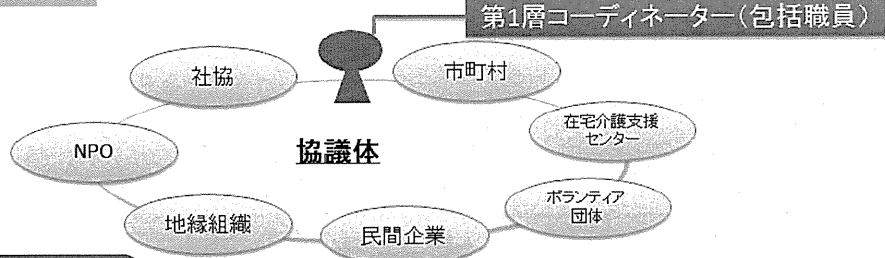
H31予算額 3,034千円

高齢福祉課地域包括支援グループ(内線611)

高齢者の日常生活上の支援体制の充実と社会参加の促進を一体的に図ることを目的に実施。「協議体」の設置、「生活支援コーディネーター」の配置により事業を推進する。協議体は市全域の第1層と、日常生活圏域毎の第2層で構成される。平成31年度から、第2層の実施について、社会福祉協議会に委託し、事業の拡充を図る。

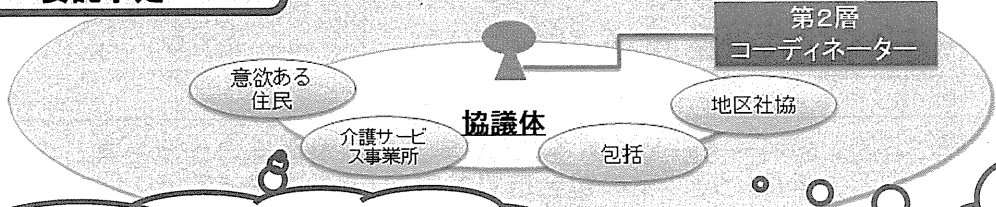
コーディネーター・協議体の配置・構成のイメージ

第1層 市町村全域



社会福祉協議会に委託予定

第2層 日常生活圏域(中学校区等)



一人暮らしの高齢者が増えてきて、地域での見守りが必要だと思う

私たちに出来ることは何だろうか？

【事業の経過】
H30年度
・第2層協議体1箇所設置 (H31. 2月開催)

【今後の見通し】
第1層協議体
・平成31年度内に設置
第2層協議体
・毎年度1協議体を新たに設置

【財源内訳】
国: 38.5%
県: 19.25%
市: 19.25%
1号保険料: 23.0%

合葬式墓地整備事業

H31予算額 72,082千円

環境衛生課環境衛生グループ(内線910)

少子高齢化が進行することによる承継に関する不安や問題の解消を図るため、市が一元的に永年管理を行う合葬式墓地の整備を行う。

【施設概要】

- 場 所 : 大字赤浜地内 高萩霊園(四阿跡地)
 構 造 : 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
 地上1階(納骨室)／地下1階(合葬室)／付帯施設(トイレ棟)
 建築面積 : 56.70㎡(合葬式墓地)／16.72㎡(トイレ棟)
 延床面積 : 99.27㎡(合葬式墓地)／16.72㎡(トイレ棟)
 納 骨 数 : ロッカー式納骨壇に252体
 使用料 : 整備費用、管理費用等を基に算出
 管 理 料 : 0円※使用料に含む。

【整備スケジュール】

- 2018年(平成30年)度 基本設計・実施設計業務委託
 2019年(平成31年)度 建設工事等
 2020年度 供用開始予定

